

日時：2010年11月6日(土)

場所：足尾エリア NASAショップ

参加者：板垣直樹、牟田園明、内田秀子、北野正浩

1. ハンググライディングシリーズの得点集計について

ヒート制を1年実施した結果をふまえ、次のように改訂する。

(1) 国内ランキング計上本数は最大で5本とする。
成立した全てのタスクを国内ランキングの対象とする。
デイクオリティが0.5以上のタスクの本数から計上本数を決定する。

DQ0.5以上のタスク本数：計上本数

1～3本：1本

4～6本：2本

7～9本：3本

10～12本：4本

13本以上：5本

とする。

(2) デイクオリティに応じた1000点ノーマライズを廃止する。

(3) 各タスクの得点に「参加人数係数」を乗じた値を国内ランキングのポイントとする。

参加人数係数 = $1.0 - 0.01 \times (50 - \text{競技参加人数})$

ただし、最大値を1とする。

ヒート制ポイント = 選手のフライト得点 × 参加人数係数

2. シード選手のテイクオフ優先権について

テイクオフでのシード選手の優先権は廃止する。

つまり、テイクオフ待ちの列に対して「シード出ます」で割り込むことはできなくなる。
上位選手は元々有利なセットアップ場所を選べるので、それ以上の特権を与える意味が薄いため。